

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日		月 日			月 日	
経過	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目			術後2日目(退院日)	
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる	○下腹部痛が緩和し、苦痛が最小限となる ○むかつき、発熱に伴う苦痛が最小限となる ○副作用が早期に対処される				○退院後の生活上の注意点が理解できる	
検査				採血 尿検査			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 手術が終わるまで絶食 (午後手術の場合は昼食まで絶食) 水分制限なし 術後指示があれば食事開始 					採血と診察の結果問題なければ朝食後退院	
		()					
処置・観察	<div style="border: 1px solid pink; padding: 5px; text-align: center;">  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります </div>						
	リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 足の血液循環の確認のため足の甲にマジックで印をつけます 鼠径部の除毛を行います 病室で尿の管を挿入します 点滴の針を挿入します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・尿の管 → 歩行できれば取り外します				創の状態を確認します 退院時にリストバンドを外します	
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  手術前に点滴を行います	 術後、以下の点滴があります ・抗菌薬 ・持続点滴 →				 鎮痛剤の内服で痛みを緩和します →	
	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し オムツとナプキンをお預かりします	 ベッド上で足を伸ばした姿勢で2時間絶対安静です その後医師の許可があれば、ベッドにもたれた状態で座ることができます(術後当日は床上安静です)	 座ることができます 足の付け根の創を確認します しびれの程度により歩行できます  全身を清拭します				 歩行できます  発熱がなければシャワー浴できます
説明	 医師より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について  看護師より説明 ・入院生活について ・手術について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について				 看護師より説明 ・早期離床について	 医師より説明 ・退院後の治療について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

13-D25-6

2023. 8. 7 版

京都第一赤十字病院

手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。



手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしくお願ひします。

